

学校名：東京都立戸山高等学校

学年：1年

名前：藪谷 竜士

作品名：将棋格言の検証 ～将棋の対局における、レーティングとそれぞれの駒を使う割合の相関についての分析～

研究の要約

昔から伝わる、駒の使い方を教える将棋格言の有用性を知るために、対局において、レーティング（強さの指標を点数で表したもの）によって、手数に占める各駒を使う割合が変わるかを調べた。結果、レーティングの高さと、歩兵（とその成り駒のと金）を使った割合には中程度の正の相関（0.51）があり、桂馬（とその成り駒の成り桂）を使った割合には中程度の負の相関（-0.50）があった。また、持ち時間によって歩を使う割合が変わることや、敗局は相関が強いこともわかった。